



令和5年12月20日（水）
 県産品振興戦略課
 副課長兼主任主査 齋藤 浩光
 電話 024-521-8026（内 2920）

令和4年度県産品の輸出実績について

令和4年度の県産品（アルコール類、加工食品、農畜産物、工芸品）の輸出金額は、約1,380百万円（前年度比100.4%）と**過去最高**を更新しました。

記

1 県産品輸出金額の推移

福島県県産品輸出状況調査結果

（単位：百万円）

	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	
											R4	R4/R3
アルコール類	94	111	187	211	350	363	447	483	437	773	775	100.3%
加工食品	0.4	5	12	17	31	99	62	50	82	100	133	133.3%
農畜産物	3	8	11	19	34	78	110	119	227	332	336	101.1%
工芸品	—	—	—	—	154	104	32	80	159	169	136	80.0%
合計	98	124	210	247	568	645	651	732	905	1,375	1,380	100.4%

（割合は千円単位で計算。）

2 品目毎の状況

(1) アルコール類

- 輸出量は約508KL（前年度比約92.5%）、輸出金額は約775百万円（同約100.3%）となり、**過去最高**となった。主な輸出先はアメリカで、輸出金額は約235百万円（同約68.6%、全体の約30.3%）と最も多く、次いでフランスが約170百万円（同約146.5%）、香港が約70百万円（同約129.9%）の順となった。
- また、輸出金額全体のうち清酒は約379百万円となり、アルコール類の約半分（48.8%）を占め、主な輸出先はアメリカ、香港、台湾、カナダ、シンガポールの順となっている。
- 増加の主な要因は、香港や台湾、カナダなどにおいて日本酒が認知され、飲食店や小売店での取り扱いが拡大したことやフランスや香港においてウイスキーやリキュールの輸入が拡大したことなどによる。

(2) 加工食品

- 輸出金額は約133百万円（前年度比約133.3%）となり、**過去最高**となった。主な輸出先はアメリカで、輸出金額は約39百万円（同約118.2%、全体の約29.5%）、次いでカナダが約29百万円（同約156.2%）、ベトナムが約11百万円（同約198.1%）の順となっている。主な輸出品目は「乾麺」などの麺類や「味噌」などの調味料、水産加工品となっている。
- 増加の主な要因は、カナダやベトナム向けの水産加工品が増加したことなどによる。

(3) **農畜産物**

- 輸出金額は約336百万円（前年度比約101.1%）となり、**過去最高**となった。主な輸出先は中国で輸出金額は約145百万円（同約97.8%、全体の約43.3%）、主な品目は「花き」となっている。次いでマレーシアが約41百万円（同約103.5%）で主な品目は「牛肉」となっている。
- 増加の主な要因は、ハラルに対応したマレーシア向けの「牛肉」の輸出が増加したことや、ベトナム向けの「なし」の輸出が2年振りに再開するなど果物の輸出が増加したことによる。

(4) **工芸品**

- 輸出金額は約136百万円（前年度比約80.0%）となった。主な輸出先はアメリカで、輸出金額は約98百万円（同約64.0%、全体の約72.2%）、主な品目は「絹織物」となっている。
- 工芸品の主な輸出品目は「絹織物」であり、減少した主な要因はアメリカ向けの輸出が減少したことなどによる。

福島県産品の輸出状況

福島県産品の輸出金額の推移

